

5 「あなたは どうする！？～それぞれの立場で考えてみよう～」（高齢者の人権）

実践する場面

- (1) 対象者 人権教育担当職員、行政職員、社会教育施設職員等
- (2) 所要時間 80分

活動のねらい（ポイント）

- (1) 高齢者自身の願いや悩みについて具体的な考えを深める。
- (2) 高齢者とその家族、それぞれの人権を尊重しようとする意識を育成する。

準備するもの

ワークシート1～2、資料、配役カード

進め方（展開例）

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	備考（資料）
導入 15分	<p>◆学習の確認（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会のねらい ・日程 ・参加体験型学習における約束 <p>◆アイスブレイキング（10分）</p> <p>「知っているかな？正解探し」</p> <p>6つの文章の中から正解を見つける。</p> <p>※◎はその人によって答えが違ふことがある、と確認できる問題に変えてもよい。</p> <p>（例：「高齢者になったときの私の生きがいは、山登りだ。」</p> <p>「定年後も働きたい。」など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【参加体験型学習の約束】の内容を伝える。 →P9 ・ワークシート1を配付する。 ・4人程度のグループで行う。 ・高齢者についての情報を提供し、人によって考えが違ふ問題があることも押さえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1 →P40 ・資料 →P42
<ul style="list-style-type: none"> ・クイズによって高齢者の人権について考え、視野を広げる。 ・話しやすい雰囲気を作るが、その人によって考えが違ふ場合があることも確認する。 			
展開 55分	<p>◆アクティビティ1（25分）</p> <p>「隣のおじいさんは」</p> <p>①「最近見かけなくなった近所のおじいさんがいる。その原因や背景」について、考えられることを個人でワークシートに記入する。</p> <p>②グループで意見交換する。</p> <p>③「自分が高齢者になったとき、どんな暮らしがしたいか。また、高齢者の悩みにはどんなものがあるか。」を考え、ワークシートに記入する。</p> <p>④グループで意見交換する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正解はないので、意見交換ではお互いの意見を尊重し合うように促す。 ・自分が高齢者になったときのことを想像して考えるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1 →P40
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を取り巻く環境について考え、高齢者に関わる問題には様々なものがあることに気づく。 ・自分が高齢者になった時のことを考え、高齢者自身の願いや悩みについて具体的な考えを深める。 			

	<p>◆アクティビティ2（30分） 「もしも私が家族なら」</p> <p>①「買い物に出かけようとする高齢者と同居する家族」の状況を確認し、配役カードを受け取る。</p> <p>②カードに書かれた人の思いをもとにして、食卓の場でどんな声掛けをするか、自分のセリフを考える。</p> <p>③グループ内でロールプレイを行う。</p> <p>④配役カードに書いてあった内容を明かして、グループ内で意見交換する。</p> <p>◆振り返り（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ1、2をとおして考えたこと、気づいたことを中心に振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2と配役カードを配る。書いてある思いや背景に即してセリフを考え、演じてもらう。 ※カードは他の人には見せないことを伝える。 ・言われた感想や他の人のセリフについて振り返り、感想を話し合ってもらおう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイでの言動が、アクティビティ1と重なる部分について着目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2 →P41 ・配役カード →P42
<p>・高齢者だから～してはいけない、家族だから～しなければいけないという考えではなく、高齢者の願いや、家族の心配する気持ち等についても考えることが大切だと気づく。</p>			
<p>まとめ 10分</p>	<p>◆まとめ（10分）</p> <p>①学習を振り返って考えたことや感じたことを共有する。</p> <p>②まとめの話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらい（ポイント）を押さえる。 	
<p>・高齢者も家族も、それぞれの幸せを考え、お互いの意見が尊重されることが大切であると気づく。</p>			

<参考資料など>

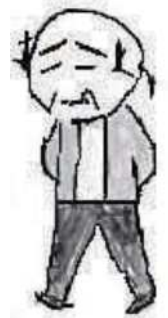
「社会教育における人権学習の手引」滋賀県教育委員会（平成26年3月）

アイスブレーキング「知っているかな？正解探し」※右の空欄に○×を記入してください。

①高齢者とは、 <u>65歳以上</u> の人のことである。		②国民の休日の一つである敬老の日は、 <u>9月15日</u> である。	
③神奈川県の高齢化率は、 <u>およそ25%</u> である。		④高齢者の中で、介護を要する人の割合は、 <u>およそ5%</u> である。	
⑤一人暮らしの高齢者の割合は、 <u>およそ36%</u> である。		⑥自分が高齢者になった時に介護してもらうなら、 <u>家族よりヘルパー</u> だ。	

アクティビティ1「隣のおじいさんは」

1 隣のおじいさんはよく散歩に出ていたのに、最近は外で会うことがなくなりました。おじいさんはどうされたと思いますか。



2 あなたが高齢者になったとき、どんな暮らしがしたいですか。また、高齢者の悩みにはどんなものがあると思いますか。

アクティビティ2「もしも私が家族なら」

降り続けていた雨が止んだある日の朝の食卓。

おばあちゃんが

今日は晴れているから買い物に行こうかな。

と言いました。



おばあちゃんも含め、家族はそれぞれ
言いたいことがあるようです。

「買い物に出かけようとする高齢者と同居する家族」の状況を確認し、配役カードを受け取り、カードに書かれた人の思いをもとにして、食卓の場でどんな声かけをするか、自分のセリフを考えましょう。

私は（ ）です。
（セリフ）

ロールプレイをやってみて気づいたこと

アイスブレーキング「知っているかな？正解探し」答え

①高齢者とは、65歳以上の人 → ○ 75歳以上で後期高齢者ともいう。

②敬老の日は、9月15日 → × 9月の第3月曜日

※ 敬老の日のもとになった「老人の日」が9月15日（同月21日までの1週間は「老人週間」）

③神奈川県の高齢化率は、およそ25% → ○（令和2年1月1日現在）25.4%

※ 高齢化率とは総人口に占める高齢者の割合のことだが、令和27年には35%になる予測

④高齢者の中で介護を要する人の割合は、およそ5% → ×

※ 被保険者のうち、要介護認定を受けた人の割合は、65～74歳ではおよそ3%で、75歳以上になると、およそ23%に上昇する。（令和2年版 内閣府 高齢社会白書）

⑤一人暮らしの高齢者の割合は、およそ36% → ○

※ 世帯主が65歳以上の世帯のうち一人暮らしの割合。令和22年には44%に！
（平成31年4月 国立社会保障・人口問題研究所）

⑥自分が高齢者になったときに介護してもらおうなら、家族よりもヘルパーだ

→ ○×どちらとも言える。その人によって考えは違う。

アクティビティ2「もしも私が家族なら」

それぞれの思いが書かれた配役カード

※印刷して切り離すなどしてご活用ください。

おばあちゃん

好きな買い物に出たい。趣味の○○の材料を買いたい。（それと家族のために、たい焼きを内緒で買って、食べさせてあげたい。）

子の配偶者

最近は雨がずっと続いていたので、外出は気分転換になる。たまには好きな買い物をさせてあげたい。

子

すこし前に、散歩していて転んでしまったので、止めたい。それに、この前みたいに、また同じものをいくつも買ってきてしまうのでは。

孫

家の近くは交通量が多く、歩道がない場所も多いので、危ないから止めたい。友だちと約束があって、一緒に行ってあげることもできない。